

編集後記

●カラオケでは大声で歌えても、電車の中ではなかなか大声では歌えません。環境が行動を縛る力は強大です。特集1は物理的環境をテーマにした特集ですが、もしも電車の中でみんなが歌声喫茶のように（比喩が古いですね）歌っている人的環境があれば、私も大声が出せます。特に新年度は、先生のあり方という人的環境も、子どもたちに大きな影響を与えそうです。

●特集2は、「ルールについて質問を受けたとき」の対応を考える特集です。具体的な対応が提案され、すぐに役立つ特集になっていますが、同時に新年度の先生のあり方を示しているとも感じました。物理的環境が整備され、先生という人的環境のサポートを受けて、子どもたち自身が安全で自由に集中できる学びの空間をつくっていく。子どもたちは、環境づくりの主体者であり受益者なのだと思いました。（こ）

次号のお知らせ

特集1 子どもに「見ているよ」のサインを送る

「気にかけているよ」と、ふんわり伝えることができれば、子どもに先生への信頼が生まれるのではないのでしょうか。こうしたサインを伝えるタイミングや、方法について考えてみたいと思います。

特集2 学校にポジティブなトーンをつくりだす P B I Sの可能性を知る

P B I S（ポジティブな行動介入と支援）の取り組みによって、学校や学級がポジティブなトーンになり、その結果、問題行動が減少していきます。今回の特集では、学校全体での取り組みを紹介します。



月刊学校教育相談

2018年 平成30年 4月号

定価 800円（本体 741円）

2018年4月1日発行

●発行所

ほんの森出版株式会社

〒145-0062

東京都大田区北千束3-16-11

電話 03-5754-3346

FAX 03-5918-8146

URL <http://www.honnomori.co.jp>

●編集企画 学校教育相談研究所

●発行人 小林敏史

●印刷所 研友社印刷(株)

ほんの森掲示板



・1月増刊号の『ポジティブな行動が増え、問題行動が激減！ P B I S実践マニュアル&実践集』（栗原慎二／編著）はいかがでしたか。アメリカで行われているP B I S（ポジティブな行動介入と支援）は全校規模で推進されるアプローチです。日本ですぐにそのような大規模な実践を展開するのは難しいかもしれませんが、P B I Sの要素を学級に取り入れることは可能だと思います。そのための実践マニュアルや実践例も収録されています。この増刊号が単行本になりました（裏表紙の広告参照）。お知り合いにおすすめていただけますと幸いです。

● 本誌の2018年4月号からの1年間の誌代は12,080円（税込 増刊号2冊を含みます）。振替口座 00140-4-768848 雑誌・書籍のご注文は、書店もしくは直接小社にどうぞ。本誌定期購読の場合は送料サービス。書籍・バックナンバーのご注文は1冊につき送料100円（3冊以上送料サービス）でお送りします。お支払いは送本時同封の郵便振替用紙で。

●  **文書ファイル配布** ページ下にこのマークが入っている☆詳しくは奥付を！資料のファイル（一太郎・ワード・パワポなど）を希望の方はホームページからご連絡ください。

ほんの森出版

検索